

令和5年度 つくばサイエンス・アカデミー事業計画(案)

1 事業方針

研究者相互の交流と知の触発による先駆的新産業領域の創造、研究成果の産業化、科学の啓発などを目的として、研究開発奨励、研究交流促進、研究産業交流などの事業を実施し、もって科学の振興に寄与する。

2 研究開発奨励事業

「江崎玲於奈賞」「つくば賞」等の顕彰事業

国内又は県内に於いて世界的に評価を受ける顕著な研究成果を収めた研究者に「江崎玲於奈賞」「つくば賞」「つくば奨励賞」の各賞を授与するとともに、授賞式及び受賞者講演会を実施する。

授賞者の決定 令和5年9月上旬(予定)

日 程：令和5年秋

場 所：つくば国際会議場

3 研究交流促進事業

SATフォーラム

会員やその家族、一般の参加も広く呼びかけ、最先端の研究や話題の研究を行っている研究者、著名な研究者を招いてフォーラムを開催する。

日 程：令和5年7月6日(木)

場 所：つくば国際会議場

講 師：名古屋大学 未来材料・システム研究所

未来エレクトロニクス集積研究センター センター長・教授

天野浩 先生 (2014年ノーベル物理学賞受賞)

テーマ：新半導体の魅力

参加費：1,000円(会員とその家族、学生は無料)

SATつくばスタイル交流会

広く会員以外の方にも参加を募り、サイエンス&アートをテーマに、講演会と音楽鑑賞会などを組み合わせた交流会を開催し、SATの周知と市民との交流を促進する。

日 程：令和5年11月23日(木祝)

場 所：つくば国際会議場

講 師：農研究機構 食品研究部門 エクゼクティブリサーチャー 山本万里 氏

アートの部：チェロとヴァイオリンのデュオリサイタル(予定)

参加費：500円(会員とその家族、学生は無料)

賛助会員交流会

技術開発に熱心に取り組んでいる賛助会員企業の事業紹介や、つくばの研究者の研究紹介を通して、企業と研究者が交流することにより、それぞれのニーズ・シーズを確認し、新しい「知の触発」に繋げる。(年2回開催予定)

研究情報交換会

研究者の新しい発想につなげるため、毎回テーマを決めて2~3人の研究者による研究状況報告と参加者との意見交換などを行う分野横断的な小規模交流会を年に2回程度開催する。

SATサイエンス・カフェ

研究者や一般市民を対象に、特定のテーマで気軽に意見交換できるアカデミーならではのサイエンス・カフェを年に2回程度開催し、研究者と一般市民との交流を通じて一般市民に科学の楽しさを知って頂くとともに、SATの認知度を高める。

つくば科学・技術産業イニシアティブの共催

「つくば科学・技術産業イニシアティブ」を科学・技術産業イニシアティブとの共催により月1回程度開催し、異分野交流の強化・拡充に務める。

4 研究産業交流事業

テクノロジー・ショーケース

つくばの各研究機関等と連携して、様々な分野の研究者による研究発表を通じて研究者と企業との交流を深め、知の触発による研究内容の向上、研究成果の実用化、ビジネス化を促進する。

日 程 : 令和6年1月(予定)

会 場 : つくば国際会議場

協力機関 : 国立環境研究所

プログラム(例)

- ・ポスター発表
- ・特別講演
- ・企画展示、共催機関広報展示 等

5 会員の加入促進について

魅力のある事業を展開することにより会員の加入促進に努める。

6 広報活動

- ・会誌の発行(年2回)・賛助会員の紹介
- ・ホームページの運営 (<https://www.science-academy.jp/>)

7 運営会議、総会

令和5年7月 第1回運営会議、総会

令和6年1月(予定) 第2回運営会議

令和5年度 つくばサイエンス・アカデミー収支予算(案)

(単位：千円)

項 目	R 5 当初(a)	R 4 当初(b)	増減額(a-b)
事業活動収入			
補助金等(茨城県から)	6,240	6,210	30
負担金(テクノロジー・ショーケース)	2,790	3,000	210
会費	4,610	4,570	40
賛助会員	3,800	3,700	100
個人会員	810	870	60
雑収入(参加費等)	290	210	80
他会計からの繰入金	3,775	2,776	999
当 期 収 入 合 計	17,705	16,766	939
事業活動支出			
研究・交流促進事業	12,967	11,898	1,069
給料、賃金	9,840	9,946	106
福利厚生費	60	60	0
諸謝金	740	205	535
旅費	100	100	0
印刷製本費	50	50	0
消耗品費	60	60	0
会議費	520	350	170
通信運搬費	84	84	0
食糧費	10	10	0
手数料	35	35	0
広告宣伝費	620	530	90
賃借料	700	360	340
負担金	88	88	0
雑支出	60	20	40
テクノロジー・ショーケース運営事業	4,738	4,868	130
給料、賃金	0	500	500
旅費	20	20	0
消耗品	20	20	0
会議費	185	175	10
通信運搬費	60	60	0
食糧費	300	300	0
委託費	2,200	2,200	0
広告宣伝費	350	390	40
租税公課	1	1	0
賃借料	1,600	1,200	400
雑支出	2	2	0
当 期 支 出 合 計	17,705	16,766	939
当 期 収 支 差 額	0	0	0

主な増減について

新型コロナウイルスの影響により昨年度予算計上していなかったSATフォーラムの経費を見込んだため収入、支出とも増額している。